

内容解説資料

令和 9 年度 教科書のご案内

数研

の

情報

Informatics (情報I)

2027年
発行教科書の
お知らせ

特長 1

充実した内容や豊富な
問題でしっかり学ぶ

特長 2

授業がしやすく知識を
整理しながら学べる

特長 3

教科書を中心とした
「学びのつながり」で
トータルサポート



教科書のご案内
サイトはこちら!

全教科全力宣言!

数研出版の高校教科書

教科書から ひろがっていく、 学びのすべてを 支え続ける。

AIが暮らしを劇的に変えている今、
教科書に求められるものは何だろう。
それは、情報過多な時代の中、毎日の学びを通して自ら考え、
たくましく進んでいく力を育むこと。

数研出版は、教科書から広がっていく“学びのつながり”を
学ぶ側、教える側のそれぞれに対し総合的にサポート。
教科書そのものはもちろんのこと、
デジタルを活用したコンテンツをはじめ副教材や教授資料など、
すべてをあらゆる角度からアップデートし、
さらに安心してお使いいただける内容と品質を目指しました。

今日の授業は、やがて未来につながっていくから。
学びのすべてを全力で支え続けて、
無限に広がる可能性へと導く翼になりたい。
それが数研出版の変わらない想いであり、
すべての行動の出発点です。

全教科全力宣言!

数研出版の高校教科書

改訂ポイント① 共通テスト対策となる 内容の充実

「プログラミング」や「データの分析」など、共通テスト対策が特に求められる分野を中心に、内容を充実させました。全体的に内容や問題類を増やしたほか、学習進度や理解度などに応じて、やや高度な内容や関連する用語などを適宜扱いやすいような工夫もしました。

詳しくは p.11, 17 へ

改訂ポイント② 知識の定着 つながる工夫 や授業に

各編冒頭の「中学とのつながり」により、知識の定着・整理がしやすくなるようにしました。実習では、紙面に掲載されたQRを活用できるようにするなど、よくように工夫しました。

詳しくは p.11, 17 へ

改訂ポイント③ 最新の話題が充実

情報モラルの分野では、SNS などに関連した指導をしやすいよう、実例をとりあげて説明しました。また、生成 AI、自動運転、VR、AR、メタバース、電子マネー、キャッシュレス決済、ドローンなど、生徒にとって身近な話題を多数掲載し、生徒の興味関心を引き出します。

詳しくは p.11, 17 へ

より「教えやすい」 「学びやすい」を目指して 改訂しました

全教科全力宣言!
数研出版の高校教科書

改訂ポイント④ QR コンテンツがさらに充実

教科書で扱うプログラムについて、「Python」、「Excel VBA」、「擬似言語」のデータや、プログラムの解説・構文の使用例の資料を新たに追加しました。また、「論理回路」のアニメーションなどのコンテンツを大幅に増やしました。

詳しくは p.7 へ



改訂版 高等学校 情報 I

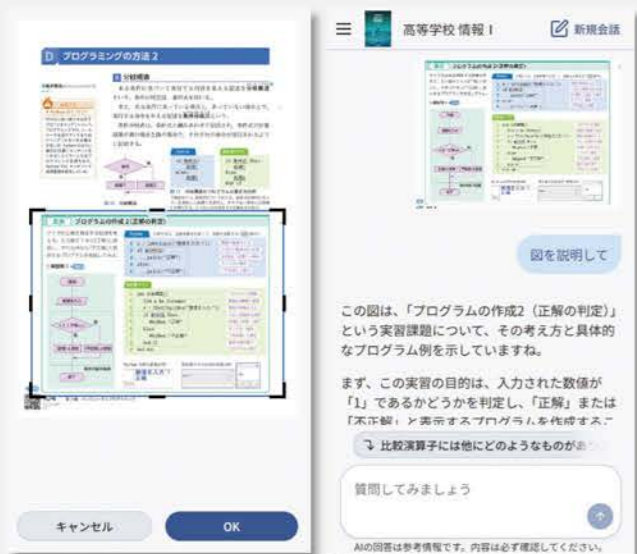


改訂版 情報 I Next

Suken AIナビ **New!**

教科書に対する生徒一人一人の疑問を解決! AIを活用した「新しい学習サポート」

特長 1 “説明して”



特長 2 “用語を教えて”



簡単に「ここ」を指定

ページ全体、または一部の範囲を指定して質問すると、その内容を詳しく教えてくれます。知りたい箇所をそのままAIに伝えられるため、スムーズに質問できます。

手軽に用語を確認

情報に関する用語について質問すると、教科書の内容にもとづいて教えてくれます。また、対応する教科書のページも教えてくれます。



詳細はこちら!

「Suken AI ナビ」は教授資料付属!(追加費用なし)

※令和8年度発行教科書より対応。

商品の写真は最新バージョンのものと一部異なる場合があります。掲載されている仕様は予告なしに変更することがあります。

学びをもっと! 深める! 広げる! 数研のQRコンテンツ



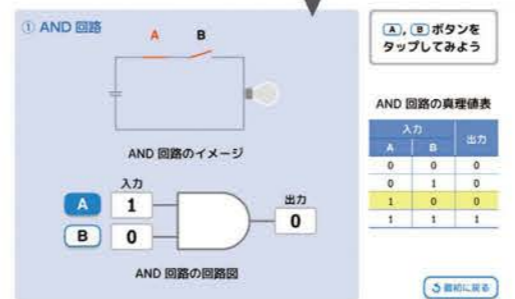
サンプルはこちら

教科書に連動したアニメーションで理解を深める!

アニメーション **おすすめ**

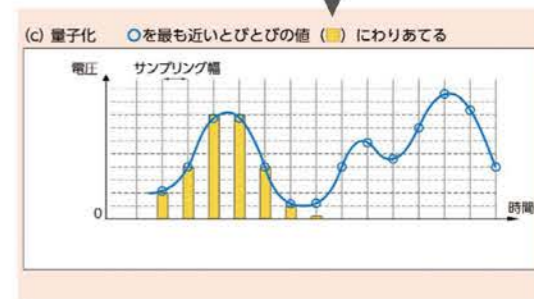
さまざまな論理回路について、
入力の値によって出力結果が変わる
シミュレーションで理解が深まる!

NEW



論理回路のシミュレーション

標本化・量子化・符号化
の流れをアニメーション
で視覚的に学習!



音のデジタル化

さまざまな数値を変換させて
みることで、10進法・2進法・
16進法の理解が深まる!

10進法

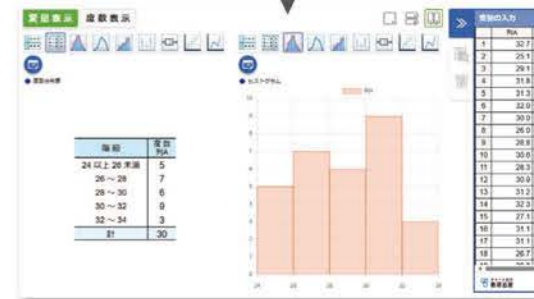
2進法

16進法

変換

10進法・2進法・16進法の変換ツール

数値を入力することで、「度数分布
表」「ヒストグラム」「箱ひげ図」
「散布図」などの描画が可能に!



度数分布表とヒストグラムの描画ツール

教科書の図がそのまま動くようなアニメーションや、条件に応じた結果を表示するシミュレーション的なコンテンツによって、内容の理解が深まります。

ソフトウェアの操作がわかる! 実際の機器が見られる!

映像 **おすすめ**

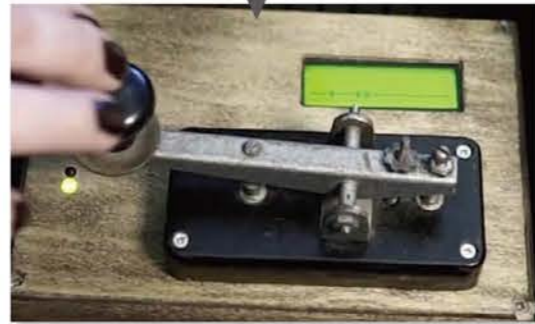
ソフトウェアの操作方法が理解できる!



「グラフに数式を表示する」を選択すると、直線の式が表示される

表計算ソフトウェアで散布図、回帰直線を作成

実際に機器が動いている映像で学習!



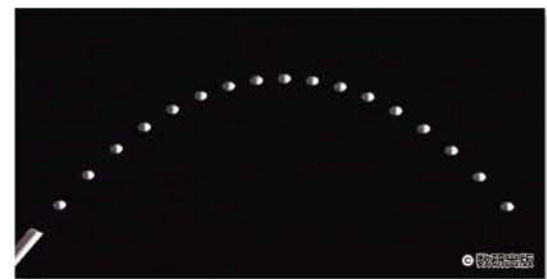
モールス電信機

画像



サーバーーム

教科書の解説を補足する画像や、実際の情報機器の製品画像などを見ることができます。



ボールの投げ上げ (物理と関連)

ソフトウェアの操作に関する字幕やナレーション付きの映像、情報機器などの実物の映像、他教科と関連している内容に関する補足映像などによって、内容の理解が深まります。

採点機能をもった確認テストで学習内容を復習!

要点の確認

次の文が正しい場合は○、誤っている場合は×を答えよ。

変数に数値や文字を代入したり計算を行ったりすることを演算といい、演算に用いる「=」などの記号を演算子という。

① ×

② ○

解答

各編に登場する重要用語の意味を復習できるドリルコンテンツです。

重要用語

NEW

用語:

説明: 分割された問題を解く小さなプログラムの記述方法。

付せんをはずす

付せんをつける

できた

できなかった

各章の要点の確認を行うことができるドリルコンテンツです。

共通テスト対策にもつながるプログラミング資料!

Python, Excel VBAのほか、擬似言語のデータ・資料も収録しています。実習・問題演習への取り組みを通じて、より深く内容を理解することができ、共通テスト対策につながります。

データ

NEW

実習「プログラムの作成1 (三角形の面積の計算)」のデータ (Python)

```
base = 10
height = 7
area = base * height / 2
print(area)
```

実習「プログラムの作成1 (三角形の面積の計算)」のデータ (表計算マクロ)

```
Sub 三角形の面積()
    Dim base As Integer
    Dim height As Integer
    Dim area As Double
    base = 10
    height = 7
    area = base * height / 2
    MsgBox area
End Sub
```

実習「プログラムの作成1 (三角形の面積の計算)」のデータ (擬似言語)

```
base = 10
height = 7
area = base * height / 2
表示する(area)
```

Python (上)・表計算マクロ (中)・擬似言語 (下) のデータ

教科書中のプログラムのデータや、擬似言語で表記したデータを掲載しています。

補足資料

NEW

MsgBoxの使い方

基本形	MsgBox 引数	引数で指定した文字列を画面に出力する
MsgBox 28	MsgBox(10)	画面に10を出力する
MsgBox "こんにちは"	MsgBox("こんにちは")	画面に「こんにちは」という文字列を出力する
MsgBox 10 + "10"	MsgBox(10 + "10")	画面に「1010」という文字列を出力する
MsgBox 10, 700	MsgBox(10, 700)	画面に10を出力し、画面の幅を700ピクセルに設定する
MsgBox 10, "Msg"	MsgBox(10, "Msg")	画面に10を出力し、画面のタイトルを「Msg」とする

print関数の使い方

基本形	print (引数)	引数の数値や文字列を画面に出力する
print(10)	print(10)	画面に10を出力する
print("こんにちは")	print("こんにちは")	画面に「こんにちは」という文字列を出力する
print(10, "10")	print(10, "10")	画面に「1010」という文字列を出力する
print(10, 700)	print(10, 700)	画面に10を出力し、画面の幅を700ピクセルに設定する
print(10, "Msg")	print(10, "Msg")	画面に10を出力し、画面のタイトルを「Msg」とする

Excel VBA (左) と Python (右) の補足資料

プログラムの解説や構文の使用例などの補足を掲載しています。

PDF

B 最小2乗法

回帰直線は、どのようにして求めることができるのだろうか。簡単なため、大きさ5のデータで考えることにする。

2つの変数x, yのデータが、次のように与えられているとする。

(x₁, y₁), (x₂, y₂), (x₃, y₃), (x₄, y₄), (x₅, y₅)

xとyに直線的な相関関係がある

とき、散点図の点は回帰直線の近く

に分布する。

教科書「数学B」紙面 (p.142)

教科書の内容に関連した他教科の紙面などを掲載しています。

Web ページ

生徒のスマホ利用などによるトラブルを防ぐための情報モラル・情報セキュリティに関する企業・団体や、実習に利用可能なデータを豊富に掲載している各種省庁、「NHK for school」などの学習の参考になるWeb ページへのリンクを豊富に用意しています。

さまざまなコンテンツをご用意!

改訂版 高等学校 情報 I

コンテンツ数 **498点**※!

改訂版 情報 I Next

コンテンツ数 **461点**※!

コンテンツ	アニメーション	映像	画像	確認*テスト	補足資料	データ	PDF	Web ページ
改訂版 高等学校 情報 I	37 点	41 点	10 点	245 点	18 点	47 点	11 点	89 点
改訂版 情報 I Next	34 点	42 点	26 点	204 点	14 点	38 点	10 点	93 点

※「確認テスト」は、問題数をコンテンツ数としています。

詳細な本文と豊富な図・写真で、見やすさと詳しさを両立した教科書



改訂版 高等学校 情報 I

情 I / 104-901 B5判・216頁+口絵4頁

改訂

『改訂版 高等学校 情報 I』は、こんな教科書です！

特長 1

擬似言語の問題も扱った詳しい説明で、「プログラミング」の理解を深められます。

プログラミング言語は、「Python」と「Excel VBA」の2つを扱いました。擬似言語による問題演習もできます。

特長 2

「データの分析」では、数学と関連させながら学習できます。

実習で扱うデータの多くを、弊社の数学教科書にあわせていますので、数学との関連で理解を深められます。

特長 3

豊富な問題類と充実した解答・解説で、共通テストに向けた学習ができます。

例題や問、編末問題、総合問題など、多くの問題で学習できます。詳しい解答・解説で、自習にも適しています。

著作関係者

著者	東京大学名誉教授 坂村 健	東京大学教授 越塚 登	法政大学教授 重定 如彦	日本女子大学特任教授 清水 謙多郎	東京大学特任准教授 濱田 健夫	東京大学准教授 石黒 祥生
	順天堂大学特任教授 大橋 真也	山形大学准教授 加納 寛子	東京情報大学教授 滑川 敬章	杉並学園高等学校 教諭 志賀 潔	森村学園中等部・ 高等部主幹教諭 高田 昌輝	元早稲田大学高等学 学院長 武沢 護
	愛知県立高蔵寺高等学校 教諭 田中 健	富山県総合教育センター 主任研究主事 東海 直樹	豊後丘学園中学校・ 高等学校教諭 林 宏樹	兵庫県立青雲高等学校 教諭 松本 吉生		
編集協力者	鶴巻町法律事務所弁護士 千葉県立市川工業高等学校教諭	桑野 雄一郎 氏家 悟	関西大学高等部教諭 浅野 学・高等学校教諭	赤松 正人 奥野 康弘	北海道室蘭栄高等学校教諭 神奈川県立白山高等学校教諭	阿部 英一 白石 紳一
	足立学園中学校・高等学校教諭 元山梨県立韮崎工業高等学校教諭	杉山 直輝 中澤 透	岡山理科大学教授 静岡県立浜松北高等学校教諭	高橋 信幸 萩原 壮一	秋田県立秋田西高等学校教諭 埼玉県立川越高等学校教諭	長岐 孝一 村口 将美
	淑徳巣鴨中学高等学校教諭	室橋 善仁	京都産業大学附属中学校・高等学校教諭	森本 岳		

『改訂版 高等学校 情報 I』の改訂ポイント

「プログラミング」「データの分析」をはじめ、内容をさらに充実させました。

「帰帰分析」や「論理回路」など、全体的に扱いを増加させました。例題や問などの問題類も大幅に増やしました。また、生成AIなどの最新の話題も扱いました。

例題 英語の小文字(合計 26 文字)だけを使って 4 文字のパスワードを設定する認証方法の場合、最大で何通りのパスワードを入力することで破られてしまうか。

答 456,976 通り

解説 26 種類の文字を使って、4 文字のパスワードを作成する場合、 $26^4 = 456,976$ 通りのパスワードが考えられる。

問 0～9 の数字のみで構成される 4 桁の暗証番号の場合、最大で何通りの暗証番号を入力することで破られてしまうか。

(p.33)

Step Up XOR 回路

AND 回路、OR 回路、NOT 回路を使って、別の基本論理回路をつくることもできる。たとえば、2 つの入力 A と B が等しいとき 0、異なるとき 1 を出力する真理値表と回路は右図のようにつくられる。この回路は基本論理回路の 1 つで、XOR 回路(排他的論理和回路または EXOR 回路)という。このほか、基本論理回路として、NAND 回路(否定論理積回路)、NOR 回路(否定論理和回路)がある。

入力		出力
A	B	
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

内容の充実の例

全体的に内容や問題類を充実させたほか、学習進度や理解度などに応じて、やや高度な内容を取捨選択して扱えるような工夫もしました。

(p.93)

2 授業のしやすさや知識の定着につながる工夫をしました。

「LINK」のアイコンのある実習では、QR コードからデータをコピーできるなど、授業をしやすくする工夫をしました。知識の定着に役立てられる要素も充実させました。

実習 プログラムの作成 2 (正解の判定)

クイズの正解を判定する処理を考える。入力値が 1 なら「正解」と表示し、それ以外なら「不正解」と表示するプログラムを作成してみよう。

```
Python
1 x = int(input("数値を入力"))
2 if x == 1:
3     print("正解")
4 else:
5     print("不正解")
```

※条件式は、比較演算子

表計算マクロ
1 Sub_分岐構造()

(p.104)

QR コンテンツ p.7~9

教科書紙面の QR コードからデジタルコンテンツをご利用いただけます。

教授資料 p.28~32

教科書の解説動画や指導者用デジタル教科書など、多くのデータが付属します。プリント作成ソフト「Studyaid on テスト作成システム」で、テストやプリントの作成をサポートします。

デジタル教科書 p.26~27 副教材 p.33~35

『改訂版 高等学校 情報 I』にぴったりの副教材を豊富なラインアップでご用意しています。

『改訂版 高等学校 情報 I』紙面紹介

特長

1

擬似言語の問題も扱った詳しい説明で、「プログラミング」の理解を深められます。

複数言語で説明

「Python」「Excel VBA」の2つの言語を例にとりあげること、言語によるちがいが学べることができます。複数の言語を扱うことで、別の言語にも対応する力をつけることができます。

フローチャートも併記 NEW

実習では、プログラムの例とあわせてフローチャートも併記することで、アルゴリズムの理解をサポートします。

実習 プログラムの作成 2(正解の判定)

クイズの正解を判定する処理を考える。入力値が1なら「正解」と表示し、それ以外なら「不正解」と表示するプログラムを作成してみよ。

Python ※条件式は、比較演算子を使って、変数と比較する(「」部分)。

```

1 x = int(input("数値を入力:"))
2 if x == 1:
3     print("正解")
4 else:
5     print("不正解")

```

表計算マクロ

```

1 Sub 分岐構造()
2 Dim x As Integer
3 x = CInt(InputBox("数値を入力:"))
4 If x = 1 Then
5     MsgBox "正解"
6 Else
7     MsgBox "不正解"
8 End If
9 End Sub

```

Pythonの実行結果の例
表計算マクロの実行結果の例

(p.104)

共通テストに出題!

令和8年度共通テストでは、擬似言語の他、真理値表(本誌p.11)や相関係数(本誌p.13)なども出題されました。

例題 次の擬似言語のプログラムについて、問いに答えよ。

- (01) (ア)
- (02) もし $a \geq 0$ ならば:
- (03) | $b = a$
- (04) そうでなければ:
- (05) | $b = a * (-1)$

- (1) (ア)の式が $a = 3$ のとき、(03)行目と(05)行目のどちらが実行されるか。また、 b の値はいくつになるか。
- (2) (ア)の式が $a = -2$ のとき、(03)行目と(05)行目のどちらが実行されるか。また、 b の値はいくつになるか。

答 (1) (03)行目が実行される。 b の値は3となる。
(2) (05)行目が実行される。 b の値は2となる。

解説 (1) $a \geq 0$ は「真」なので(03)行目が実行される。
(2) $a \geq 0$ は「偽」なので(05)行目が実行される。このプログラムは、変数 a の絶対値を求めるものとなっている。

(p.105)

実習例を掲載 NEW

実習では、実習例を適宜掲載。実際に課題に取り組みながら、内容を理解できるような形式としました。

擬似言語も掲載 NEW

例題や問では、共通テストで出題される擬似言語を扱いました。問題演習を通じて、アルゴリズムやプログラミングへの理解を深めることができます。

副教材で強力にサポート!

『改訂版 集中ドリル 情報 I プログラミング』や『集中ドリル 情報 I データの分析』を活用することで、より多くの擬似言語や「データの分析」分野の問題に取り組めます(本誌p.34)。

特長

2

「データの分析」では、数学と関連させながら学習できます。

数学との連携

「データの分析」では、実習で扱うデータの多くを、弊社の数学教科書にあわせています。(下記表を参照)

実習のデータを配信 NEW

データの入力が必要な実習では、テキストや数値などのデータを配信しています。紙面に掲載したQRコードを読みとることで、授業準備や実習時間の短縮につながります。

実習 相関関係の分析

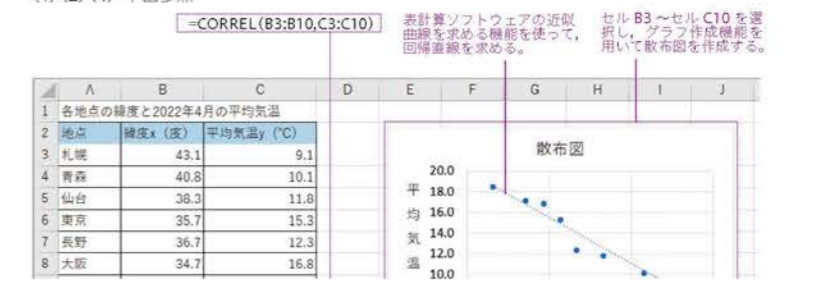
下の表は、各地点の緯度と2022年4月の平均気温を調べた結果である。(気象庁ウェブサイトより作成)

地点	札幌	青森	仙台	東京	長野	大阪	高知	鹿児島
緯度 x (度)	43.1	40.8	38.3	35.7	36.7	34.7	33.6	31.6
平均気温 y (°C)	9.1	10.1	11.8	15.3	12.3	16.8	17.1	18.4

- (1) 表計算ソフトウェアなどを使って、この2つの変数 x , y の散布図を作成せよ。
- (2) 表の x , y のデータについて、相関係数を求めよ。
- (3) (2)で求めた相関係数から、どのような傾向がわかるか。
- (4) (1)で作成した散布図に、回帰直線を追加してみよ。
- (5) 回帰直線の回帰式をもとに、緯度が35.0度の地点の気温を推測してみよ。

(実習例) 参照

- (1) (2) (4) 下図参照



(p.160)

▼弊社数学I教科書との対応箇所一覧

改訂版 高等学校 情報 I	改訂版 情報 I Next	内容	弊社数学 I 教科書との共通内容				
			数学数 I /104-901	NEXT 数 I /104-902	高等学校 数 I /104-903	新編 数 I /104-904	最新 数 I /104-905
p.154 表2~3, 図7, 実習	p.144 TRY	度数分布表とヒストグラム	p.176, 177	p.192, 193	p.168, 169	p.172, 173	-
p.155 実習	p.146 TRY	平均値と中央値	p.179 例2	p.195 練習3~4	p.172 例3	p.176 例3	p.164 例4
p.156 表4~5	p.145 図2	クロス集計表	p.199 表1~4	-	p.191 例12	p.192 表1	-
p.157 実習	p.147 TRY	分散と標準偏差	p.188 例8, 練習11	p.204 例3, p.205 練習11	p.181 例9, 練習10	p.184 例9, 練習10	p.172 例9
p.160 実習	p.149 TRY	散布図と相関係数	p.194 練習13	p.212 練習13	p.186 練習12	p.188 練習12	-
p.180 p.181 巻末実習8	-	散布図と相関係数	p.193 p.196 練習14	p.210, 211 p.214 練習14	p.185 p.188 練習13	p.187 p.190 練習13	-

Step コインを投げて表が出る確率

上の例のように、「コインを複数回投げて、表が何回出るか」という確率は、数学 Bで学習する確率の公式で計算できるほか、表計算ソフトウェアを使ってシミュレーションを行ったり、表計算ソフトウェアの関数の機能を使ったりして求めることもできる。

図 Aは、コインを10回投げることを1セットとし、1セットで表が何回出たかを記録している。これを50セットくりかえし、表が出る回数(確率)の分布を調べ、その結果を図 Bの左の2列に記録している。また、図 Bでは、関数の機能を使って、確率を計算している。

1セット目	2	3	4	5	6	7	8	9	10表の出数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	50	1	1	1	1	1	1	1	1

図 A シミュレーションの例
RAND関数を使って、表と裏が等確率でランダムに表示されるようにしている。

表の出数	回数	確率
0	0	0.000977
1	0	0.009766
2	2	0.043945
3	5	0.117188
4	6	0.205676
5	10	0.246094
6	13	0.205676
7	6	0.117188
8	2	0.043945
9	0	0.009766
10	0	0.000977
合計	50	1

図 B 表が出る確率
理論値は、BINOMDIST関数を使って求められている。

(p.161)

他教科との関連

他の教科・科目で学ぶ内容と関連のある項目をマークで示しています。教科間の連携を高め、カリキュラムマネジメントに役立てることができます。

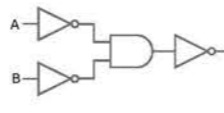
高度な内容も掲載 NEW

学習進度や理解度などに応じて、取捨選択して扱えるように、やや高度な内容も適宜掲載しました。

特長 3 豊富な問題類と充実した解答・解説で、共通テストに向けた学習ができます。

豊富な問題
例題と問のセットで、理解度の確認と知識の定着をはかります。また、編末問題では、問題量を増やして、多くの問題に取り組めるようにしました。

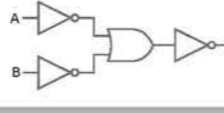
例題 右の論理回路において、Aに1、Bに0を入力した場合、0と1のどちらが出力されるか。



答 1

解説 NOT回路では、1と0がかわることに気をつけて、NOT回路やAND回路からの出力を1つずつ確認する。

問 右の論理回路において、Aに1、Bに0を入力した場合、0と1のどちらが出力されるか。



(p.93)

総合問題

第1問 先週、情報セキュリティに関する授業を受けた優太さんとまどかさんは、先生から各自適切なパスワードを考えてくるという宿題をだされた。以下は、翌週の情報の授業内でのようすである。この会話文を読み、後の問い(問1~問5)に答えよ。

先生 「それでは、宿題として考えてきたパスワードを発表してもらいます。」

優太 「僕が考えてきたパスワードは「20110725」です。」

まどか 「それってもしかして優太さんの誕生日? 危ないんじゃない?」

優太 「なんで? 使っているのは数字しかないけど8桁だからけっこう長いよ。しかも忘れることはないから、授業で説明された「望ましいパスワード」にあっていると思うし。」

先生 「そうだね。たしかに優太さんが忘れることはないけど、そのパスワードだと1秒で40億回も試せる一般的な解析用コンピュータがあれば一瞬で不正アクセスされていますね。前回の授業で学んだ、望ましいパスワードの他の条件は何でしたか?」

(p.182)

総合問題
巻末には、1年の学習のまとめとして取り組める「総合問題」を用意しました。共通テストに向けた準備を進めることができます。

教授資料でプリント作成!
教授資料に付属の「Studyaidテスト作成システム」で、教科書や問題集などの問題を使ったプリントを簡単に作成できます(本誌p.30)。

解答・解説
生徒が自習をしやすいように、問や編末問題、総合問題には、解答解説を設けています。

情報社会の問題解決

問 p.19 (1) 適切ではない (2) 適切ではない

解説 (1) 有名人が発信した情報というだけでは、信ぴょう性が高いとはいえない。
(2) 再生回数が多い動画というだけでは、信ぴょう性が高いとはいえない。

(p.206)

その他 授業のしやすさや知識の定着につながる工夫をしています。

C 論理モデルのシミュレーションの例1 物理基礎

Think 論理モデルを用いたシミュレーションとは、どのようなものだろうか。

ボールの運動に関して、論理モデルを用いたシミュレーションを考えると、ボールから手をはなす瞬間の動きをシミュレーションを行ってみる。

地球には重力があり、実際にボールを落とす実験から、落下するボールの動きがわかっている。このことから、次のようにシミュレーションを行ってみる。

(p.118)

問いかけ NEW
本文の冒頭などに適宜問いかけを掲載。授業や教科書への生徒の主体的な取り組みを促します。

生成AIの利用と注意点

機械学習や深層学習(p.38)技術の進歩により、膨大な情報から学習した「モデル」(p.112)を使うことで、利用者の属性にあわせて文章・画像・音楽・動画といったコンテンツをAIが「生成」することができるようになった(p.38)。生成AIは、入力されたプロンプトとよばれる指示をAIが理解することで、文章を生成して質問に回答したり、文章の要約や翻訳・記事の執筆を行ったり、画像やイラストのような図像を生成したりすることができる。一方、生成AIを利用するときは、著作権の侵害や個人情報の漏洩、情報の誤りなどのリスクに注意する必要がある。

(口絵⑦)

生成AIも掲載 NEW
扱いに注意が必要な生成AIについて、巻頭で大きく取り上げました。

多くの用語に対応 NEW
類語や関連語をまとめて扱う要素を新設。似た名前が多い情報の分野で、多くの用語に対応できるようにしました。

NOTE

ユーザー認証
ユーザー認証を行ってコンピュータシステムへアクセスする手続きをログイン(log in)やログオン(log on)、サインイン(sign in)という。また、ユーザー認証を使用したアクセスを終了することをログアウト(log out)やログオフ(log off)、サインアウト(sign out)という。

④アカウント(account)ともいう。ユーザーIDは、実際の名前と同じである必要はない。また、利

(p.32)

a ユーザー認証
情報やコンピュータシステムにアクセスすることが許可された人かどうかを判定したり、ネットワーク上で他人になりますことを防ぐ方法の1つが、**ユーザー認証**である。ユーザー認証は、コンピュータシステムにアクセスしている人が、あらかじめ登録した人と同じ人かどうかを確認する操作である。ユーザー認証は、SNSに接続するときや、特定の人だけに許可されたサービスにアクセスする場合などに使われている。

ユーザー認証では、自分がだれかを示すために、利用者を識別するユーザー名(ユーザーID)を提示する。ユーザーIDは、利用者を識別する(identification)。

中学とのつながり

- 中学校の「情報の技術」では、インターネットを利用し、ウェブページを閲覧するためのしくみなど、情報通信ネットワークを利用して、どのように情報を送受信させるのかを学んだ。
- 第4編では、ネットワークのしくみだけでなく、安全に使用するための暗号化を学ぶ。また、データベースを学ぶことで、データの整理や分析を行い、それらを活用した問題解決に取り組む。

(p.127)

知識の定着をサポート NEW
各編冒頭の「中学とのつながり」、各章末の「思いだしてみよう」、各編末の「まとめ」などの要素で、知識の定着・整理に役立てられるように工夫しました。

第3編 まとめ

第1章 コンピュータのしくみ

A コンピュータの構成 p.88~91

- ハードウェア: コンピュータ本体やそれに接続される装置の機械そのものこと。ハードウェアは演算装置、制御装置、記憶装置、入力装置、出力装置という5つの装置から構成されており、これらは五大装置とよばれる。
- ソフトウェア: プログラムやデータのこと。

B プログラミング言語とは p.100~101

- プログラミング: コンピュータが処理できるようにアルゴリズムを記述すること。
- プログラミング言語: プログラミングのための専用の言語。

フローチャート(流れ図): 手順を四角形などの図形で表し、図形と図形を線、あるいは矢印でつなぐことで、アルゴリズムの流れを視覚的に表した図。

(p.126)

思いだしてみよう

- A 尺度水準には、どのようなものがあるか。
- B 外れ値とは、どのようなデータか。
- C 標準偏差によって、何がわかるか。
- D 相関係数によって、何がわかるか。

(p.161)

章構成・時間配分表

編	章	配当時間
第1編 情報社会の問題解決	第1章 情報とメディア	4
	第2章 情報社会における法とセキュリティ	6
	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響	2
第2編 コミュニケーションと情報デザイン	第1章 情報のデジタル表現	7
	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴	2
	第3章 情報デザイン	5
第3編 コンピュータとプログラミング	第1章 コンピュータのしくみ	4
	第2章 プログラミング	7
	第3章 モデル化とシミュレーション	6
第4編 情報通信ネットワークとデータの活用	第1章 ネットワークのしくみ	7
	第2章 データベース	3
	第3章 データの分析	7
合計		60

※標準2単位で年間授業時間数の合計は70時間ですが、授業時間配分表では学校行事などを考慮して、60時間で計算しています。

簡潔な本文と豊富な図によって、
見やすさとわかりやすさを
両立した教科書



改訂版 情報 I Next

情 I /104-902

B5判・192頁+口絵4頁+折込付録

改訂

『改訂版 情報 I Next』は、こんな教科書です！

特長 1

紙面の約半分が図やイラストで、視覚的にわかりやすい構成です。

要点が明確な「本文」と、豊富な図・表・イラストによって視覚的な理解ができる「図解」にわかれた構成です。

特長 2

「プログラミング」「データの分析」の内容をわかりやすく整理しています。

「図解」と豊富な実習での主体的な学習によって、理解を深めることができます。共通テストにも対応できる充実した内容になっています。

特長 3

豊富な実習で本編の内容の定着を助けます。

本文中の小さな実習「TRY」(合計24テーマ)と編末の実習(合計13テーマ)を通じて内容を定着させ、「思考力・判断力・表現力」を育成できます。

著作関係者

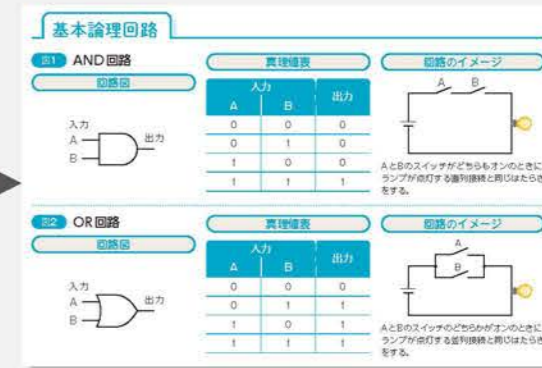
東京大学名誉教授 坂村 健	東京大学教授 越塚 登	法政大学教授 重定 如彦	日本女子大学特任教授 清水 謙多郎	東京大学特任准教授 濱田 健夫	東京大学准教授 石黒 祥生
順天堂大学特任教授 大橋 真也	山形大学准教授 加納 寛子	東京情報大学教授 滑川 敬章	杉並学院高等学校教諭 志賀 潔	森村学園中等部・高等部主幹教諭 高田 昌輝	元早稲田大学高等学院 学院長 武沢 護
愛知県立高蔵寺高等学校 教諭 田中 健	富山県総合教育センター 主任研究主事 東海 直樹	雲雀丘学園中学校・ 高等学校教諭 林 宏樹	兵庫県立青雲高等学校 教諭 松本 吉生		

鶴巻町法律事務所弁護士 桑野 雄一郎	関西大学高等部教諭 氏家 悟	赤松 正人	北海道室蘭栄高等学校教諭 奥野 康弘	阿部 英一
千葉県立市川工業高等学校教諭 杉山 直輝	遠野中学・高等学校教諭 中澤 透	奥野 康弘	神奈川県立白山高等学校教諭 高橋 信幸	白石 紳一
足立学園中学校・高等学校教諭 中澤 透	岡山理科大学教授 室橋 善仁	赤松 正人	秋田県立秋田西高等学校教諭 萩原 壮一	長岐 孝一
元山梨県立韮崎工業高等学校教頭 室橋 善仁	京都産業大学附属中学校・高等学校教諭 森本 岳	赤松 正人	埼玉県立川越高等学校教諭 村口 将美	村口 将美

『改訂版 情報 I Next』の改訂ポイント

全編で内容を充実させ、
共通テストにも対応できる
詳しさとしました。

「プログラミング」「データの分析」では、ページ数を増やして内容や実習を充実させています。その他、「2進法による計算」「論理回路」「シミュレーション」の内容の拡充など、全編にわたり本文の記述・掲載用語数を拡充させています。
QRコンテンツについても「プログラミング」「データの分析」の資料、「論理回路」のアニメーションなどを拡充し、コンテンツを通じてより深く内容を理解できるようにしています。



(p.94)

共通テストに出題!

令和8年度共通テストでは、真理値表の他、擬似言語や相関係数(本誌p.19)なども出題されました。

TRY 平均値と中央値

①ある商品の価格について、A町とB町にある各店舗で調査したところ、次のデータが得られた。それぞれのデータについて、表計算ソフトウェアなどを使って、平均値と中央値を求めてみよう。

店番	価格(円)	店番	価格(円)	
1	100	1	100	
2	260	2	260	
3	270	3	270	
4	280	4	270	
5	280	5	280	
6	280	6	280	
7	280	7	280	
8	300	8	280	
9		9	280	
10	平均値	278	平均値	245
11	中央値	280	中央値	275

②で求めた平均値と中央値を比較して、どちらがこのデータの代表値に適しているか考えてみよう。

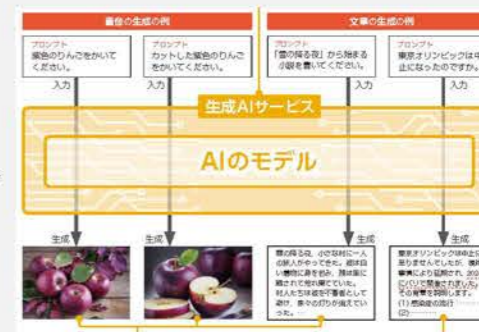
③右のような表を作成する。

④A町のデータの平均値と中央値は近い値となっているが、B町のデータの平均値は245円であり、中央値とは大きく離れた値となっている。これは、B町の店舗の1つが価格に支い100円で、B町の平均値に大きな影響を与えているためである。このようなデータの場合は、中央値が代表値として適していると考えられる。

(p.146)

最新的话题を充実させました。

情報モラル分野では、最新の事例を参考に、解説や注意喚起を行っています。また、話題の「生成AI」について、特集ページでそのしくみや活用をまとめています。さらに、本文でもAIについて丁寧に解説するとともに、生成AI利用に関する注意喚起を行っています。



(口絵⑦)

(p.32)

生成AI利用時の注意

生成AIは、学習したデータのバリエーションから、ある単語や文章の並びによく見られる単語や文章を推測して「それらしい文章」を生成する。生成AIは、学習したデータのバリエーションから、ある単語や文章の並びによく見られる単語や文章を推測して「それらしい文章」を生成する。生成AIは、学習したデータのバリエーションから、ある単語や文章の並びによく見られる単語や文章を推測して「それらしい文章」を生成する。

QRコンテンツ p.7~9

教科書紙面のQRコードからデジタルコンテンツがご利用いただけます。

教授資料 p.28~32

教科書の解説動画や指導者用デジタル教科書など、多くのデータが付属します。
プリント作成ソフト「Studyaid on テスト作成システム」で、テストやプリントの作成をサポートします。

デジタル教科書 p.26~27 副教材 p.33~35

『改訂版 情報 I Next』にぴったりの副教材を豊富なラインアップでご用意しています。

『改訂版 情報I Next』紙面紹介

特長 1 紙面の約半分が図やイラストで、視覚的にわかりやすい構成です。

見開き構成

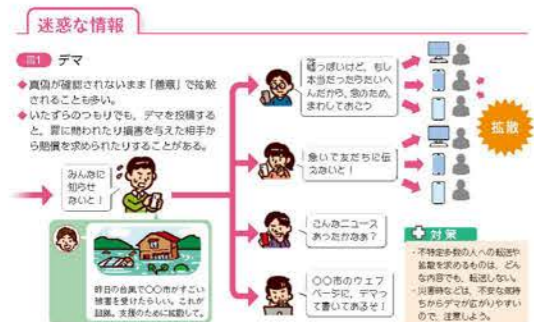
各節は見開き構成で、上部は要点が明確な「本文」、下部は豊富な図・表・イラストによって視覚的な理解ができる「図解」になっています。

学習をナビゲートするキャラクター

「図解」では、キャラクターのイラストやセリフによって情報モラルに関する事例や複雑な図などをわかりやすく解説しています。

16 情報技術の適切な活用(2)

迷惑な情報
インターネットが普及する前は、デマは個人の間での会話や電話などを通じて広がっていた。インターネットでは、SNSやチェーンメール(人から人に次々と転送されるように仕向けられたメール)などによって、デマが拡散しやすい。友人からの情報であっても「知らない」「知りあいが」といった文面はうのみせず、クロスチェックを行うことが大切である。



フェイクニュースとファクトチェック
偽りの情報を伝えるニュースをフェイクニュース(「フェイク」の意味)という。一方、世の中に広まるニュースやうわさに対して、事実かどうかを確認することをファクトチェック(「ファクト」は「事実」の意味)という。現在は、至る所において様々な情報や動画が簡単に共有されるようになり、社会的信頼に与える影響が大きい。フェイクニュースを見抜くためには、クロスチェックを行うことが大切である。また、事実を確認した結果を掲載したウェブページもあるため、クロスチェックの手段の一つとして活用する。AIによるフェイクニュースの検出も進んでいる。

迷惑メール、情報を発信するときの注意
① 他人の権利の侵害 他人の著作権(→p.22)、肖像権(→p.19)や、個人情報(→p.18)の取り扱いには十分な配慮を行う。
② ジオタグ 写真や動画を投稿する際、ジオタグ(位置情報)が残っていると、予期しない相手に撮影場所が知られてしまう。
③ アクセス制御 記事の投稿を行うとき、公開範囲をまちがえることがないように、アクセス制御の設定には十分注意する。



デマやフェイクニュースの検証
デマやフェイクニュースが問題になった事件をインターネットで調べてみよう。また、どのような点に気をつければ、疑を見抜くことができるのか、考えてみよう。

特長 2 「プログラミング」「データの分析」の内容をわかりやすく整理しています。

実習例を掲載
実習「TRY」として、実際に課題に取り組みながら、内容を理解できる形式としました。

フローチャートを併記 NEW
プログラムの例とフローチャートを併記することで、視覚的なアルゴリズムの理解をサポートします。

TRY プログラムの作成2 (正解の判定)

入力値が1なら「正解」と表示し、それ以外なら「不正解」と表示するプログラムを作成してみよう。

実習例 フローチャート

Python

```
1 x = int(input("数値を入力:"))
2 if x == 1:
3     print("正解")
4 else:
5     print("不正解")
```

表計算マクロ

```
1 Sub=分岐構造()
2 Dim x As Integer
3 x = CInt(InputBox("数値を入力:"))
4 If x = 1 Then:
5     MsgBox("正解")
6 Else
7     MsgBox("不正解")
8 End If
9 End Sub
```

Pythonの実行結果: 数値を入力:1 正解

擬似言語もサポート NEW
共通テストで出題される擬似言語に関する資料を巻末に扱いました。また、紙面に掲載したQRコードを読み取ることで、擬似言語での各プログラムの例や構文の使用例などの補足資料にアクセスすることが可能です(本誌p.9)。

複数言語で説明
「Python」「Excel VBA」の2つの言語を例にとりあげています。ちがいを意識させることで、複数の言語への理解を深め、別の言語にも対応する力をつけることができます。

TRY 相関関係の分析

次の表は、各地点の緯度と2022年4月の平均気温を調べた結果である。(気象庁ウェブサイトより作成)

地点	札幌	札幌	青森	仙台	東京	長野	大阪	高知	鹿児島
緯度x(度)	43.1	40.8	38.3	35.7	36.7	34.7	33.6	31.6	
平均気温y(°C)	9.1	10.1	11.8	15.3	12.3	16.8	17.1	18.4	

① xとyの相関係数を求め、どのような傾向がええるかを考えてみよう。
② 表計算ソフトウェアなどを使って、xとyの散布図を作成し、回帰直線を追加してみよう。
③ 回帰式をもとに、緯度が35.0度の地点の気温を予測してみよう。

実習例
① 相関係数は-0.97で-1に近いことから、強い負の相関があると考えられる。よって、緯度が高いほど平均気温が低い傾向があるといえる。
② 右図のような図を作成する。
③ ②で求めた回帰式に35.0をあてはめると、約15.5℃と予測できる。

数学との連携
「TRY」で扱うデータの多くは、弊社の数学教科書にあわせた上で、表計算ソフトウェアを用いた分析を行う形式としています(本誌p.13)。

内容をさらに充実 NEW
交絡因子、最小2乗法といった内容も扱い、「数学I」より深くデータの分析を学べるようにしています。

副教材で強力にサポート!
『改訂版 集中ドリル 情報I プログラミング』や『集中ドリル 情報I データの分析』を活用することで、より多くの擬似言語や「データの分析」分野の問題に取り組みます(本誌p.34)

(p.149)

(p.148)

理解を深めるコラムや実習
側注の補足 コラム 実習 やや高度な内容を「Note」「TOPIC」「TRY」「Step Up」を適宜扱っています。

さまざまな視点で学びを深める
他の教科・科目で学ぶ内容に関連した項目は「科目名」、情報に関連した職業などのキャリア教育に関連した項目は「キャリア」で示しています。

見開き構成の工夫
各見開きには「2進法のページ番号」「ばらばら漫画」、各節の最後にはグループワークなどに活用できる「話し合い」を掲載しています。

Step Up 残差と最小2乗法
回帰式から予測できる値と実際のデータとの間には残差とよばれる誤差が生じる。この差を2乗したものの合計が最小になるように回帰直線を選ぶ方法を**最小2乗法**という。残差が小さいほど、回帰式は正しく予測を行うことができるので、すべてのデータとの残差が小さくなるようにすることで、適切な回帰式を求めることができる。最小2乗法の計算は簡単な作業ではないため、専用のツールを使って行うのが一般的である。

特長 3

豊富な実習で本編の内容の定着を助けます。

「TRY」 本文では、小さな実習要素「TRY」を適宜扱っています(合計24テーマ)。

実習のデータを配信 NEW

データの入力が必要な実習では、QRコードからテキストや数値などのデータにアクセスでき、授業準備や実習時間の短縮につながります。

TRY デマやフェイクニュースの検証 (p.39)

デマやフェイクニュースが問題になった事件をインターネットで調べてみよう。また、どのような点に気がつけば、嘘を見抜くことができるのか、考えてみよう。

TRY プログラムの作成3(連続する数の表示) (p.105)

反復構造を使って、1から5までの連続した数を表示するプログラムを作成してみよう。

フローチャート: 開始 → iに1を代入 → くりかえし開始 (iが5以下) → iを表示 → iに1をたす → くりかえし終了 → くりかえしの処理 → 終了

Pythonコード:

```

1 i = 1
2 while i <= 5:
3     print(i)
4     i = i + 1

```

表計算マクロ:

```

1 Sub 反復構造 ()
2 Dim i As Integer
3 i = 1
4 Do While i <= 5
5     MsgBox i
6     i = i + 1
7 Loop
8 End Sub

```

08 Pythonでアルゴリズムを学ぼう (p.116~117)

コンピュータは、膨大な数にもっとも簡単に繰り返し計算することができます。その時間を有効に、ある数の平方根を計算するアルゴリズムを考えよう。どのようなプログラムをつくればよいのか、考えてみよう。

目的を明確にしよう

アルゴリズムを考えよう

プログラムの変数を決めよう

プログラムの実行しよう

プログラムの実行結果

プログラムの実行結果

編末の実習 各編末では、見開きで「実習」を扱っています(合計13テーマ)。本編で学習した内容を実際に定着させることができます。話しあいや発表を行う実習も設けており、「思考力・判断力・表現力」の育成につながります。

その他

授業のしやすさ、知識の定着、他教科との連携など、さまざまな工夫をしています。

中学校の「情報の技術」では、「情報」が社会に与える影響は、どのようなものがあるのかを理解して、私たちが「情報」を安全に利用する方法を学びました。特に「情報」の特性、情報モラル、知的財産権、情報セキュリティなどについて学びました。また、情報技術を活用して、実際に問題解決のプロセスを経験しました。第1編では、中学校で学んだことを生かし、情報の科学的な見方や考え方はたからせて、身近な問題から社会問題など、さまざまな問題解決にとり組みます。

知識の整理をサポート NEW 各編冒頭の「中学とのつながり」、各編末の「まとめ」などの振り返りを行う要素により授業での知識の整理を行いやすくしています。

次のデータの例(1)~(4)を、名義尺度・順序尺度・間隔尺度・比例尺度にそれぞれ分類せよ。(1)単行本の巻数 (2)日付 (3)DVDの保存容量 (4)宝くじの当せん番号

第3編 編末問題 (p.141)

1 知識・技能を養う問題 2 思考力・判断力・表現力を養う問題

1 問題 p.90~93 コンピュータに関する次の文章のうち、正しいものは○、正しいとはいえないものには×を答えよ。

(1) コンピュータの機械そのもののことを、ソフトウェアという。

(2) 主記憶装置は、補助記憶装置よりもアクセス速度が遅いが、大量のデータを記憶できる。

(3) パソコンは、パーソナルコンピュータを略したものである。

(4) SSDとよばれるフラッシュメモリは、出力装置である。

総合問題 (p.187~188)

1 問題 2 解説 p.187~188

1 問題 2 解説 p.187~188

1 問題 2 解説 p.187~188

A 散布図と相関係数 (p.148)

2つの変量からなるデータの間に、一方が増加すればそれに従ってもう一方も増加・減少するという傾向が見られるとき、2つのデータの間に**相関(相関関係)**があるという。

他教科との連携 数学・物理などの他教科・科目で学ぶ内容と関連のある項目はマークで示して連携を高め、カリキュラムマネジメントに役立てられるようにしています。

章構成・時間配分表

編	章	配当時間
第1編 情報社会の問題解決	第1章 情報とメディア	4
	第2章 情報社会における法とセキュリティ	6
	第3章 情報技術が社会に及ぼす影響	3
第2編 コミュニケーションと情報デザイン	第1章 情報のデジタル表現	7
	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴	2
	第3章 情報デザイン	5
第3編 コンピュータとプログラミング	第1章 コンピュータのしくみ	4
	第2章 プログラミング	7
	第3章 モデル化とシミュレーション	5
第4編 情報通信ネットワークとデータの活用	第1章 ネットワークのしくみ	7
	第2章 データベース	3
	第3章 データの分析	7
合計		60

※標準2単位で年間授業時間数の合計は70時間ですが、授業時間配分表では学校行事などを考慮して、60時間で計算しています。

豊富な問題と巻末解答

本文中の問「Q」、学習内容を確認できる「編末問題」、共通テストの準備にぴったりな「総合問題」による、豊富な問題演習が可能です。また、生徒が自習しやすいように、巻末に各問題の解答・解説を設けています。

問題の解答・解説

第1編 情報社会の問題解決 (p.184)

1 問題 2 解説 p.184

1 問題 2 解説 p.184

教授資料でプリント作成! 教授資料に付属の「Studyaid」テスト作成システムで、教科書や問題集などの問題を使ったプリントを簡単に作成できます(本誌p.30)。

教科書「数学I」との連携 「データの分析」では、実習「TRY」で扱うデータの多くを、弊社の数学教科書にあわせています(対応箇所一覧は本誌p.13)。

特集 情報 I 教科書 2点比較



書名 (詳しい紹介ページ)		改訂版 高等学校 情報 I (本誌 p.10 ~ 15)	改訂版 情報 I Next (本誌 p.16 ~ 21)	
仕様		B5判・216頁+口絵4頁	B5判・192頁+口絵4頁・折込付録	
特徴		詳細な本文と豊富な図・写真で、見やすさと詳しさを両立した教科書	簡潔な本文によるわかりやすさと、豊富な図による見やすさを両立した教科書	
主要要素	記述の特徴	文章と図・表で詳しく説明。 例) p.48 ~ 49	文章は簡潔な記述とし、図・表を中心に説明。 例) p.48 ~ 49	
	図の扱い方	写真を多く掲載。 例) p.77 図8	イラストを中心に掲載。 例) p.70 図3	
	問題	例題・問	例題...15個 問...29個	Q...21個
		編末問題	37問	29問
		総合問題	小問 29問 (大問 6問)	小問 19問 (大問 4問)
	実習	見開き	8個 巻末に掲載。	13個 各編末に掲載。
		本編内	実習...26個 Exercise...12個	TRY...24個
	問いかけ	Think...25個	扱いなし。	
	やや高度な内容	StepUp...8個	StepUp...5個	
	読解チェック	21問 本編で適宜掲載。	扱いなし。	
話しあってみよう	6個 本編で適宜掲載。	56個 本編の各見開きに掲載。		
他教科との関連	科目名のマーク 30個	16個		
キャリア教育との関連	「キャリア」のマーク 12個	10個		
QRコンテンツ	合計 498点	合計 461点		
内容の扱い	情報モラル	本文と表で詳しく説明し、例題・問を適宜掲載。 例) p.24 ~ 27	イラストを中心に説明。 例) p.20 ~ 23	
	プログラミング	擬似言語の問題も掲載。シミュレーションの実習でもプログラムを多く扱う。 p.100 ~ 111, 118 ~ 121, 168 ~ 175	プログラミングの章および一部のシミュレーションの実習でプログラムを扱う。 p.100 ~ 109, 114, 116 ~ 119	
	データの分析	本文と図・表、実習で詳しく扱う。仮説検定の考え方で扱う。 p.154 ~ 161, 176 ~ 181	簡潔な説明で、図と実習を中心に扱う。仮説検定は紹介のみ。 p.144 ~ 149, 152 ~ 157	
教材周辺	サポートノート	共通テストの受験を意識した問題も適宜掲載。	教科書の内容に沿った問題を中心に掲載。	

記述や図の扱いの例 (データの分析)

詳しい記述と図で、理解を深められます。

改訂版 高等学校 情報 I p.158

① 散布図
2つの変数の関係を図で表したものを散布図という。散布図において、一方が増加すると他方も増加する傾向が見られるとき、2つの変数には**正の相関**があるという。また、一方が増加すると他方が減少する傾向が見られるとき、2つの変数には**負の相関**があるという。どちらの傾向も見られないときは、2つのデータの間に、**相関がない**という。

② 相関関係と因果関係
一方が原因で他方が結果である関係を**因果関係**という。2つのデータに相関関係があったとしても、必ずしも因果関係があるとはいえないことに注意が必要である。
たとえば、ソフトクリームとかき氷の消費量に正の相関があった場合、「別の原因(気温など)が変動した結果、ソフトクリームとかき氷の消費量も変動した」と考えられる。この別の原因のことを**交絡因子**という。

改訂版 情報 I Next p.148

① 散布図 2つの変数の関係を図で表したものを散布図という。一方が増加すると他方も増加する傾向が見られるとき、2つの変数には**正の相関**があるという。また、一方が増加すると他方が減少する傾向が見られるとき、2つの変数には**負の相関**があるという。どちらの傾向も見られないときは、**相関がない**という。

② 相関係数 相関の強さを-1~1の間の数値で表したものを、**相関係数**という。相関係数が1に近いほど正の相関が強く、-1に近いほど負の相関が強い。また、相関がないときは、相関係数は0に近い値をとる。

③ 交絡因子
ソフトクリームの消費量が増えた結果、かき氷の消費量も増えた。これは気温が上昇したことが原因で、ソフトクリームの消費量とかき氷の消費量の両方が増えた。このような関係を交絡因子という。

簡潔な記述と豊富な図・イラストで、視覚的に理解できます。

内容の扱いの例 (プログラミング)

改訂版 高等学校 情報 I p.105

例題 次の擬似言語のプログラムについて、問いに答えよ。

```

(01) (ア)
(02) もし a >= 0 ならば:
(03)   | b = a
(04) そうでなければ:
(05)   | b = a * (-1)

```

問 次のプログラムについて、問いに答えよ。

```

(01) (ア)
(02) もし a % 2 == 0 ならば:
(03)   | 表示する(「偶数」)
(04) そうでなければ:
(05)   | 表示する(「奇数」)

```

擬似言語の例題・問も扱いました。アルゴリズムへの理解を深め、共通テスト対策にもつながられます。

改訂版 情報 I Next p.104

分岐構造

分岐構造のプログラムの書き方の例

```

Python
1 if-条件式:
2   ...処理1
3 else:
4   ...処理2
5 End-If

表計算マクロ
1 If-条件式-Then
2   ...処理1
3 Else
4   ...処理2
5 End-If

```

TRY プログラムの作成2 (正解の判定)

```

Python
1 x = int(input("数値を入力:"))
2 if x == 1:
3   print("正解")
4 else:
5   print("不正解")

```

図と実習を中心に理解を深められます。

教科書を中心とした学び

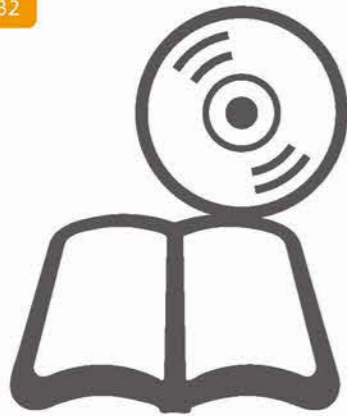
数研出版はICT教育のあらゆる場面に対応できるコンテンツをご用意し紙書籍のラインアップも今まで以上に充実させていきます。

教授資料

授業準備サポート①

授業運営に必要なデータを完備した資料集とDVD-ROMです。授業の様々なアレンジが可能になります。

詳細は p.28~32



指導用教科書

※教授資料に付属

授業準備サポート②

教科書に補足説明を加えた指導用教材です。内容解説や指導のポイントを確認できます。

詳細は p.28



教科書 日常学習サポート①

学習の軸となる書籍です。紙面のQRコードを読み取ると、QRコンテンツにアクセスできます。また、教授資料をご購入の場合、AIを活用した学習サポート「Suken AI ナビ」のご利用が可能です。

詳細は p.10~21

副教材 日常学習サポート②

教科書準拠問題集、プログラミング教材...など。教科書と連携した活用ができます。

詳細は p.33~35

エスビューア

詳細は p.26~27

指導者用 デジタル教科書(教材)

※教授資料に付属

日常学習サポート③



- ペン、ふせん、スタンプ、拡大・縮小などの基本機能を搭載!
- 特別支援機能を搭載!

学習者用 デジタル教科書

日常学習サポート④



グループ学習

豊富な教材ラインアップで学び合いの効果を最大限に高めます。



オンライン学習

在宅学習でも通常授業と同等の授業展開ができるコンテンツをそろえています。



解説動画

ご指導用補助教材としてご利用いただけます。授業内容の確認に最適です。

誰でも簡単に

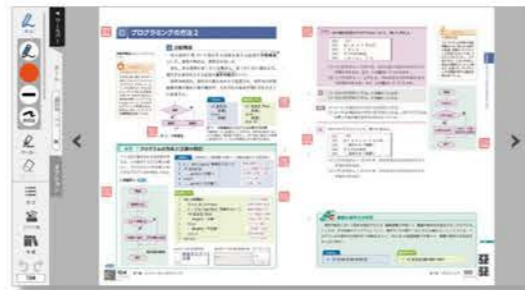
1つのライセンスで、アプリ版(Windows, iPad)とブラウザ版の両方をご利用いただけます。

基本機能



ペン、マーカー、消しゴム、ふせん、スタンプなどの基本的な機能は、ツールバーから選択して利用できます。

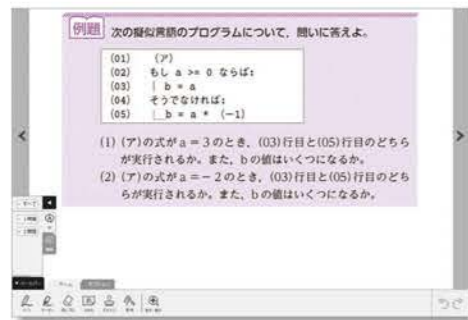
ツールバーの位置は、左、下、右に変更できます。画面サイズによっては、左右に配置することで紙面を大きく投影できます。



スライドビュー

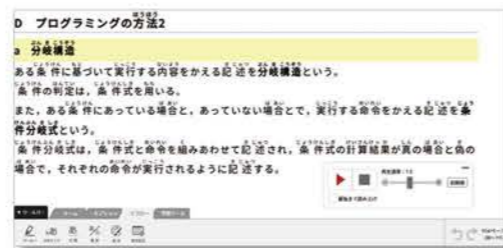
紙面を大きく表示することができます。「投影用」と「学習用」の2種類のスライドビューがあります。

※スライドビューは、指導者用デジタル教科書(教材)でのみ利用できます。



特別支援機能

音声読み上げ、配色設定、総ルビ表示、文字サイズ・書体変更などができます。



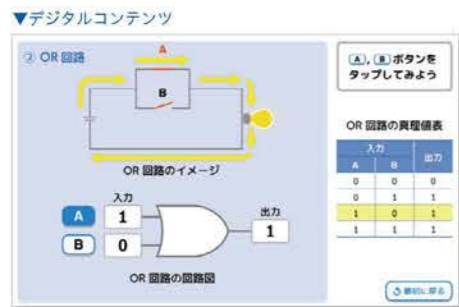
※一部教材では、特別支援機能はご利用いただけません。

深く学べる

授業や自宅学習に役立つデジタルコンテンツや内容解説動画を豊富に用意しています。

教科書紙面掲載のQRコードからご利用できるデジタルコンテンツに加え、指導者用デジタル教科書(教材)では、教科書の内容解説動画も利用できます。教科書の記述や図の理解の補助に役立ちます。

※利用時はインターネット接続が必要です。



情報 デジタル教科書 ラインアップ

【補足：利用期間(教科書使用期間)について】

「デジタル教科書」は販売終了後、一定の利用期間の後に販売を停止いたします。

配信終了後はオンラインでの利用が不可となりますのでご注意ください。

各商品の利用期間(配信期限)の最新情報は、弊社ホームページ (<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/>) をご覧ください。

指導者用デジタル教科書(教材)

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

※情報の「指導者用デジタル教科書(教材)」は教授資料に付属しています。

商品名	収録書籍	データサイズ
指導者用デジタル教科書(教材)改訂版 情報 I ※教授資料に付属	「改訂版 高等学校 情報 I」 「改訂版 情報 I Next」	約 1.5 GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM
■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○	○※	○	—	—	—	—	—

※「投影用スライドビュー」「学習用スライドビュー」を自由に切り替えてご利用いただけます。

学習者用デジタル教科書

生徒一人一人の端末で使用する、制度化された「学習者用デジタル教科書」です。

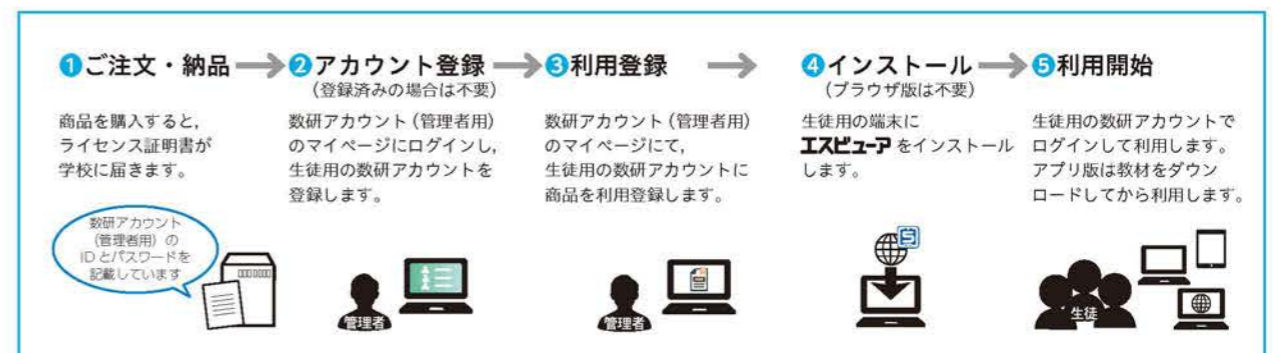
科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
情報 I	学習者用デジタル教科書 改訂版 高等学校 情報 I	4382122D02	各 550 円	未定
	学習者用デジタル教科書 改訂版 情報 I Next	4382132D02		

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書
■搭載機能：下表参照

基本機能	スライドビュー	デジタルコンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○	—	—※	—	—	—	—	—

※教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

ご利用までの流れ(学習者用デジタル教科書)



(注) 指導者用デジタル教科書(教材)のご利用までの流れは、弊社ホームページ (<https://www.chart.co.jp/software/digital/s/flow/>) をご覧ください。

動作環境

●動作環境の詳細は弊社ホームページをご覧ください。
●1ライセンスでアプリ版とブラウザ版の両方をご利用いただけます。

アプリ版

Windows 11
iPadOS 17/18/26
※Windows11のSモードには非対応です。

ブラウザ版

OS: Windows 11
OS: Chrome OS 最新版
OS: iPadOS 17/18/26

ブラウザ: Google Chrome/Microsoft Edge
ブラウザ: Google Chrome
ブラウザ: Safari

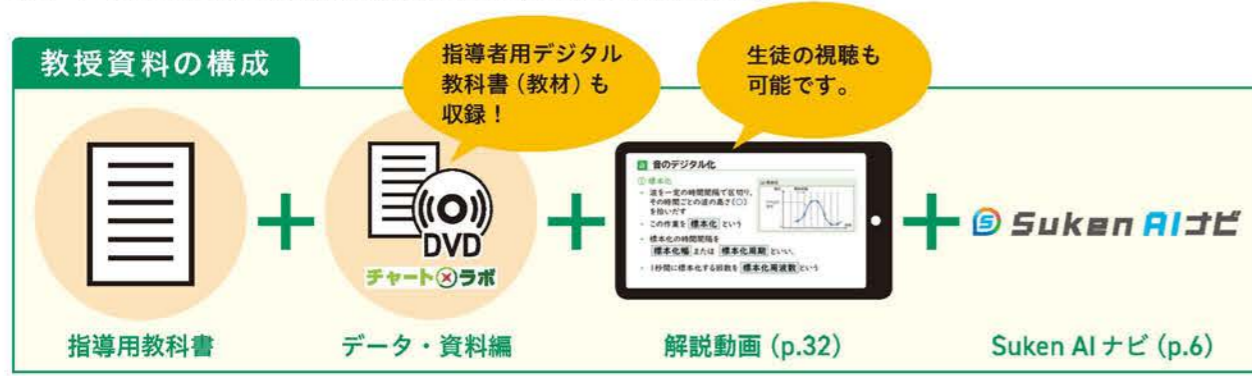


教授資料のご案内

教授資料ラインアップ

書名	判型・色数・頁数	付属品	価格(税込)
改訂版 高等学校 情報Ⅰ 指導用教科書+データ・資料編	指導用教科書 B5判・4色・224頁 データ・資料編 B5判・1色・128頁	データ DVD-ROM 解説動画閲覧権	38,500円
改訂版 高等学校 情報Ⅰ 指導用教科書	B5判・4色・224頁	なし	5,720円
改訂版 情報Ⅰ Next 指導用教科書+データ・資料編	指導用教科書 B5判・4色・208頁 データ・資料編 B5判・1色・128頁	データ DVD-ROM 解説動画閲覧権	38,500円
改訂版 情報Ⅰ Next 指導用教科書	B5判・4色・208頁	なし	5,720円

※「データ・資料編」は、教科書『改訂版 高等学校 情報Ⅰ』と『改訂版 情報Ⅰ Next』の2点共通です。



指導用教科書の特徴

- 4色刷の指導用教科書なので、紙面が見やすく、教室に持ち込んでも違和感がありません。
- 教科書の縮刷とともに内容解説、指導のポイント、板書例などを掲載しています。
- サポートノートの該当ページ、データDVD-ROMの関連データを掲載しています。
- 指導用教科書のみ購入も可能です。

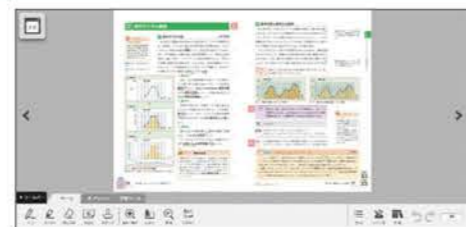
データ・資料編の特徴

- データDVD-ROMに収録されているデータ一覧表を掲載し、必要なデータを探しやすくしています。
- 学習指導計画例と観点別評価規準例を掲載しています。
- 高校情報科と関連の深い他分野の内容を解説した資料(中学校における情報教育など)を掲載しています。
- プログラミングとデータの分析の指導に役立つ資料を掲載しています。
- 付属のデータDVD-ROMには、指導に役立つデータを豊富に収録しています。指導者用デジタル教科書(教材)(下記)や、プリント作成ソフト「Studyaid[®] テスト作成システム」(p.30~31)も収録しています。
- DVD-ROMに収録されている原則すべてのデータを「チャート×ラボ」(最終ページ)からダウンロードできるようになります。
- DVD-ROM収録外のデータや、追加・修正が生じた場合の最新データも「チャート×ラボ」にあります。

● 指導者用デジタル教科書(教材)

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。ペン、ブラインド、スタンプ、拡大・縮小などの機能を搭載しています。

※指導者用と学習者用の基本的な機能は共通です。
※画像は『改訂版 高等学校 情報Ⅰ』のもので。



データDVD-ROM・ダウンロードデータの一覧

教科書2点分のデータが1枚のDVD-ROMに収録されます。

すべて「チャート×ラボ」(最終ページ)からダウンロードできます。

サンプルはこちら！



種類	データ名	形式	内容
教科書 演示	教科書 PDF	PDF	教科書紙面の PDF データです。
	教科書説明スライド (p.31) 教科書説明スライド (穴埋めタイプ) (p.31)	PowerPoint, Google スライド	教科書の内容をまとめたスライドデータです。用語等の一部を穴埋めにした穴埋めタイプのスライドもあります。Google スライドにも対応しています。
	指導者用デジタル教科書(教材)	EXE	教科書紙面の演示ができる指導者用デジタル教科書システムです。(詳細は p.28 を参照)
授業支援	一問一答スライド	PowerPoint など	一問一答形式の問題を表示するスライドです。Google フォーム、Microsoft Forms にも対応しています。
	情報モラル学習教材	HTML, Word	ワンクリック詐欺などのトラブル事例を体験できるデータと、話しあい活動などに活用できるワークシートです。
	マクロ版テスト	Excel	Excel マクロで動作する一問一答テストのシステムです。
	教科書 QR コンテンツデータ	MP4 など	教科書の QR コードから閲覧できる動画などのデータです。
	パソコンの基本操作	Word	パソコンの基本操作をまとめた資料です。
	教科書対応プリント (p.31)	Word	教科書説明スライドに対応したプリントです。
実習	指導用教科書 PDF	PDF	指導用教科書紙面の PDF データです。
	実習用素材	Word など	教科書掲載の実習で活用できるさまざまなデータです。
テスト	プログラム関連素材 (p.32)	Python など	プログラムに関連したさまざまなデータです。教科書のプログラムの別解や類題などを収録しています。改訂版では、Google Colaboratory に対応したデータも追加します。
	定期試験問題	Word	定期試験を想定したマーク式の問題です。
	小テスト	Word, PDF	教科書の内容確認ができるプリントです。
	サポートノート	Word	サポートノート(教科書準拠問題集)のテキストデータと図版データです。マーク式の追加問題もあります。
プリント 作成	補充問題	Word	大学入試や資格試験の問題を集めたプリントです。
	教科書テキスト・図版	HTML, JPEG など	教科書の本文や実習などのテキストデータと図版データです。
	プリント作成素材集	JPEG, PNG など	オリジナルの図やプリントを作成する際にご活用いただける情報機器などのイラスト素材です。
その他	Studyaid [®] テスト作成システム (p.30~31)	EXE	教科書や問題集の問題データからプリントを作成できるシステムです。
	学習指導計画例・観点別評価規準例・ルーブリック例 (p.32)	Excel	学習指導計画例と観点別評価規準例とルーブリック例のデータです。
	観点別評価集計ファイル	Excel	3つの観点に基づく評価を入力・集計できるデータです。
	解説動画のご案内 (p.32)	Word, PDF	解説動画の視聴方法に関する生徒向けのご案内です。
Google フォーム等の対応データ (p.32)	Excel	Google フォームや Microsoft Forms を活用したテストなどのご利用に関するデータです。	

サンプルはこちら！



※教授資料付属データに追加や修正が生じた際は、「チャート×ラボ」にご留意する場合がございます。

※一部のデータは「チャート×ラボ」からのダウンロードのみでのご留意となります。

NEW!

プリント作成ソフト 「Studyaid^{DB} テスト作成システム」をご用意しています！

教科書や問題集などの問題データから、出題範囲や問題形式を選んで問題を検索し、出題したい問題を指定してプリントを作成できるシステムです。

使用イメージ

① 問題を検索して選択

問題検索はこの1画面で行えます。書籍別はもちろん、収録問題集すべてを対象とした「まとめて検索」でも検索ができます。一問一答、図表問題、マークシート形式問題など、さまざまな問題を収録します。

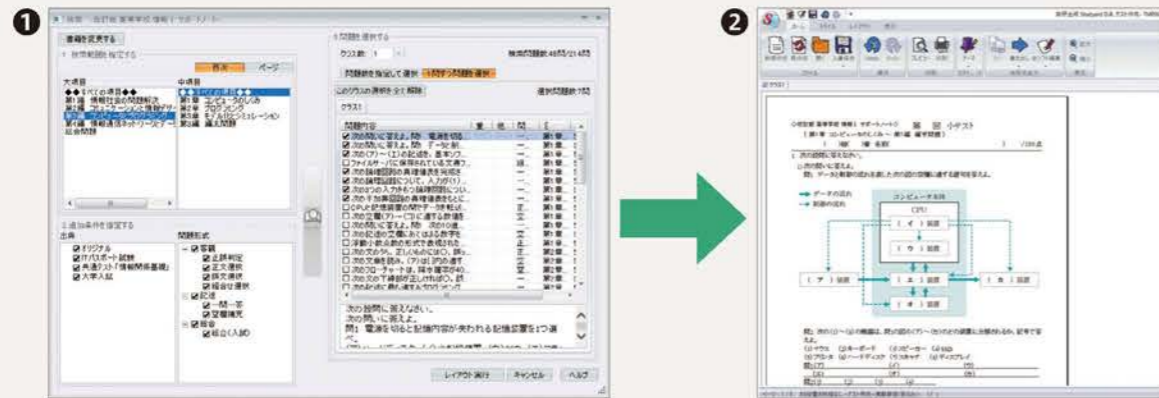
② 選択された問題を自動配置

選択した問題は自動でレイアウトされます。出題する問題や用紙サイズの変更、正答の表示・非表示の切り替えなどの調整を簡単に行うことができます。

③ Wordに書きだして編集

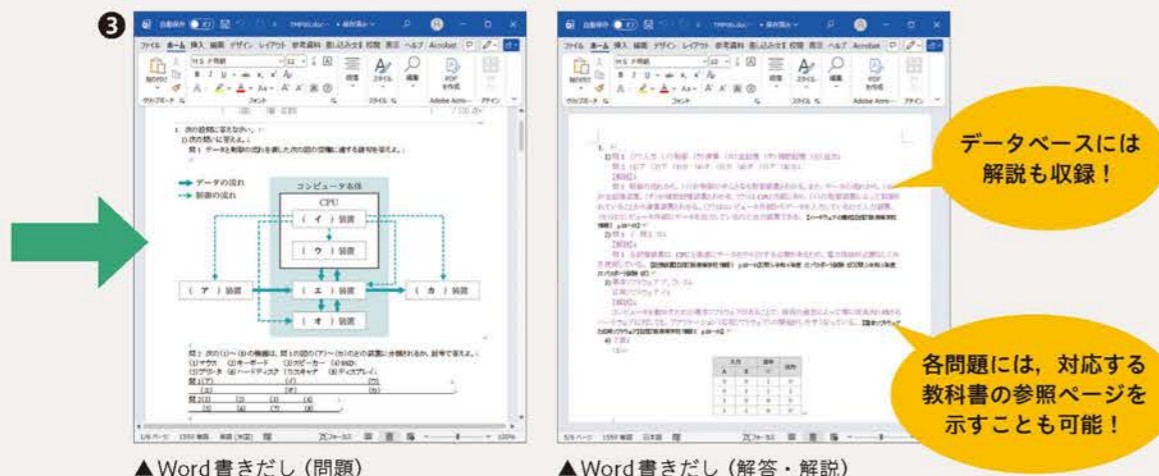
作成したプリントは、Microsoft Wordに書きだすことができます。細かな文字や数字の変更は、Word上で編集できます。

※「ジャストシステム 一太郎」に書きだすこともできます。



▲検索画面

▲レイアウト画面



▲Word書きだし(問題)

▲Word書きだし(解答・解説)

データベースには解説も収録！

各問題には、対応する教科書の参照ページを示すことも可能！

「Studyaid^{DB} テスト作成システム」に収録する問題データの例

- ★教科書『改訂版 高等学校 情報Ⅰ』
- ★教科書『改訂版 情報Ⅰ Next』
- ★改訂版 高等学校 情報Ⅰ サポートノート
- ★改訂版 情報Ⅰ Next サポートノート
- ★改訂版 大学入学共通テスト対策 情報Ⅰ 徹底演習
- ☆大学入学共通テスト準備 情報Ⅰ 演習問題集
- ☆4ステージ 情報Ⅰ
- ☆改訂版 集中ドリル 情報Ⅰ プログラミング
- ☆集中ドリル 情報Ⅰ データの分析
- ☆教授資料付データ「補充問題」
- ☆共通テスト「情報Ⅰ」の過去問

※★をつけた問題は、DVDに収録。☆をつけた問題は、発行後に随時、弊社Webサイト「チャート×ラボ」から配信予定。
※収録する問題データは、変更や追加となる可能性があります。

約1200問の問題を収録！
発行後も更新を行い、
問題数は増加予定！



サンプルはこちら！



教科書説明スライド、教科書対応プリント

教科書の内容をまとめたスライドデータです。

PowerPointとGoogleスライドに対応しています。

各スライドのノート欄には説明すべき内容を記載し、説明時に参考にいただけます。

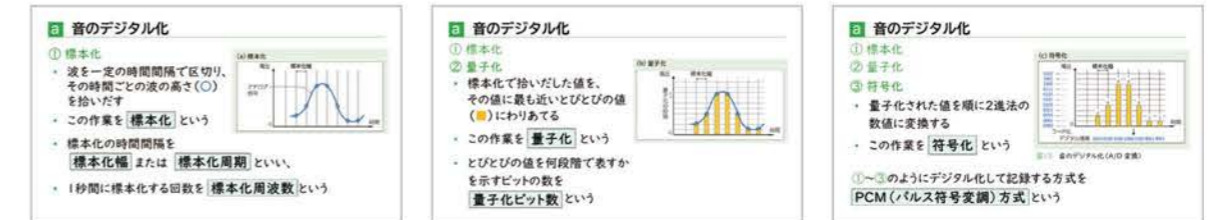
教科書説明スライドの用語等の一部を穴埋めにしたスライドデータ「教科書説明スライド(穴埋めタイプ)」と、教科書の内容に対応したプリントデータ「教科書対応プリント」もご用意します。

※画像は『改訂版 高等学校 情報Ⅰ』のものです。

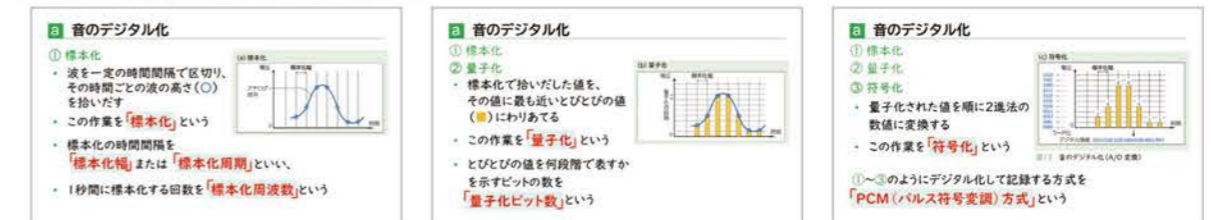
サンプルはこちら！



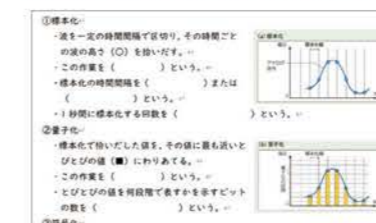
教科書説明スライド



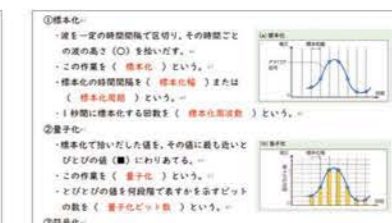
教科書説明スライド(穴埋めタイプ)



教科書対応プリント(生徒用)



教科書対応プリント(指導者用)



●プログラム関連素材

プログラムに関連したさまざまなデータです。
教科書のプログラムの別解や類題のプログラム(下図)などのデータを収録しています。
改訂版では、擬似言語で表記したデータ(下図)や、Google Colaboratoryに対応したデータや使用方法に関する資料(右図)も追加します。

教科書掲載のプログラム

```
i = 1
while i <= 5:
    print(i)
    i = i + 1
```

別解や類題のプログラム

```
#「連続する数の表示」の別解
#iの初期値を0とした場合
i = 0
while i < 5:
    i = i + 1
    print(i)
```

擬似言語で表記したデータ

```
i = 1
i <= 5 の間くりかえす:
| 表示する(i)
| i = i + 1
```



●ループリック例 **NEW!**

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点について、ループリック評価ができるように基準例を表にまとめたものです。観点別評価の際にお使いいただけます。

節	評価の観点	評価の項目	評価の基準例			評価の方法
			A	B	C	
D音のデジタル表現	知識・技能	音のデジタル化のしくみについて理解している。 教科書の図のアナログ信号を、手作業で標本化、量子化、符号化して、デジタル情報に変換することができる技能を身に付けている。	音のデジタル化のしくみについて明確に理解し、説明できる。 標本化、量子化、符号化の手順を明確に理解した上で、デジタル情報には失われた情報があることを踏まえ、手作業でアナログの波形をデジタルデータに変換することができる。	音のデジタル化のしくみについて理解している。 標本化、量子化、符号化の手順に従って、手作業でアナログの波形をデジタルデータに変換することができる。	音のデジタル化のしくみについて理解していない。 標本化、量子化、符号化の手順に従って、手作業でアナログの波形をデジタルデータに変換することができない。	音声コンビュータに録音した結果について聞き、音声録音するときの音質のちがいは何に起因するが答えさせる。
	思考・判断・表現	音をデジタル化する方法について考え、その結果を適切に表現している。	音のデータ量を適切な式を立てて求められ、標本化周波数と量子化ビット数がデータ量とどのような関係にあるか説明できる。	標本化周波数と量子化ビット数をもとに、音のデータ量を適切な式を立てて求めることができる。	標本化周波数と量子化ビット数をもとに、音のデータ量を求める式を立てることができない。	教科書p57の例題と関わり取り組ませる。
	主体的に学習に取り組む態度	デジタル情報の表し方について理解し、活用しようとしている。	音声のデジタル化される過程に、どの要素がデータに影響を与えるかということを含めて興味をもっている。	音声のデジタル化される過程に興味をもっている。	学習内容に興味をもっていない。	コンピュータに音楽を取り込むしくみについて話し合わせる。

●解説動画

教科書の各単元の内容を、スライドに沿って音声で解説した動画です。
「指導用教科書+データ・資料編」をご購入いただいた場合に、追加費用なしでご視聴いただけます。
対面授業が難しい状況下でも学習を進めることができます。また、教授資料付属のプリントデータとあわせてお使いいただけます。

解説動画のサンプルはこちら！



解説動画数

改訂版 高等学校 情報 I	改訂版 情報 I Next
46本	56本

●Google フォーム等の対応データ

Google フォームやMicrosoft Formsを活用したテスト、教科書の「話しあってみよう」に対応した意見入力フォームをご用意します。
弊社で作成したデータをコピーして、生徒それぞれの端末に簡単に配信できます。
生徒から返送された回答は自動で採点され、瞬時に集約できます。

Google フォーム等の対応データに関する詳細はこちら！



次の空欄に適する語句の正しい組み合わせを選択肢から選べ。

アナログ情報をデジタル情報に変換することを(ア)、デジタル情報をアナログ情報に変換することを(イ)という。

(ア) アナログ化 (イ) デジタル化

(ア) ビット化 (イ) バイト化

(ア) デジタル化 (イ) アナログ化

(ア) バイト化 (イ) ビット化

教科書をサポートする充実の副教材



副教材の詳細はこちら！

問題集

●教科書準拠問題集



自学でも使いやすい教科書準拠の書き込み式の問題集

No.70137

改訂版 高等学校 情報 I サポートノート **改訂**

B5判/本冊112頁・別冊48頁/定価627円(税込)

No.70155

改訂版 情報 I Next サポートノート **改訂**

B5判/本冊120頁・別冊44頁/定価649円(税込)

教科書の学習を進めながら、共通テストの受験を意識した問題にも取り組むことができます。
本冊側注や別冊に、理解を助ける補足を掲載し、自学でも使いやすくしています。
総合問題は、自学でも取り組みやすいよう、問題の紙面も掲載した詳しい解説としています。
奥付のQRコードから、教科書解説動画を視聴できます。

●傍用問題集



基礎から共通テストレベルの問題まで、一冊で無理なくステップアップ

No.70061

4ステージ 情報 I **新刊**

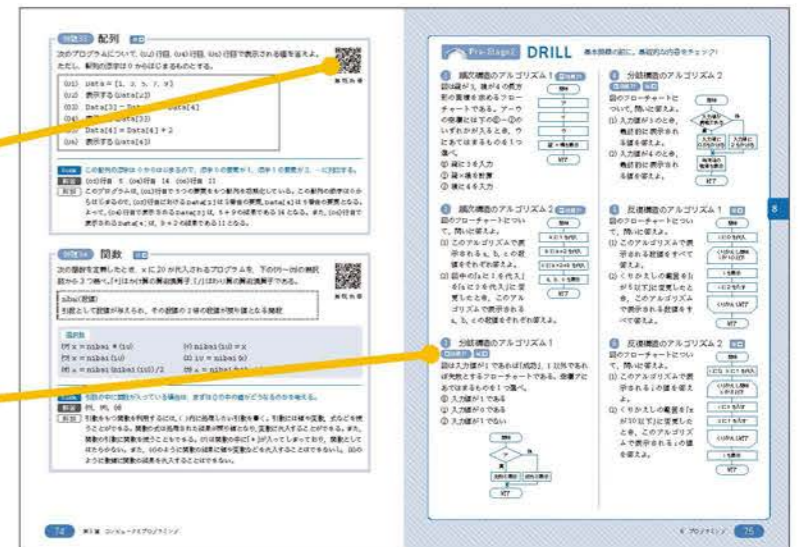
B5判/本冊152頁・別冊72頁/税込定価869円

例題、基本問題、標準問題、応用問題の4つのステージで無理なく力をつけられます。「プログラミング」と「データの分析」の単元では、くりかえしの演習によって基本

を確実に身につけられる要素「DRILL」で、重点的に学習できます。
自学自習を円滑に進められるよう、別冊解答には詳しい解説を掲載しています。
『大学入学共通テスト対策 情報 I 徹底演習』との問題重複はありません。2点あわせて使うことで、共通テスト対策まで全に行うことができます。

すべての例題(54問)で解説動画を視聴可能！

参照(例題31・84)を活用して、別のステージの関連問題へ！



● 共通テスト対策問題集



第1回の共通テストを徹底的に分析して改訂!

No.70292

改訂版 大学入学共通テスト対策 情報Ⅰ 徹底演習 **改訂**

B5判/本冊128頁・別冊72頁/税込定価803円

分野別演習, パターン別演習, 実戦問題の3部構成で, 基本的な問題から共通テストの模擬試験まで演習できます。

分野別演習の例題とプログラミング分野の問題には, 解説動画が付属!

例題4 データ量

次の記述の空欄「アイウ」にあてはまる数字を答えよ。なお、1kB = 10³B、1MB = 10⁶kBとする。

A新聞社では、発行した新聞記事の内容を電子媒体に保存している。新聞1日分の平均ページ数を40ページ、1ページあたりのデータ量を100kBとする場合、700MBの容量をもつCD-Rには「アイウ」日分の記事を記録することができる。

ガイド 新聞1日分のデータ量は「1日分の平均ページ数×1ページあたりのデータ量」で求められる。最終的な計算は、かならず、kBやMBなどの単位をそろえてから行う。

解答 ア1 イ7 ウ5 (アイウ175)

解説 新聞1日分のデータ量とCD-Rの容量は、次のように求められる。
 新聞1日分のデータ量 = 40ページ/日 × 100kB/ページ = 4000kB/日
 CD-Rの容量 = 700MB = 700 × 1000kB = 700000kB
 よって、700000kB ÷ 4000kB/日 = 175日

共通テスト「情報Ⅰ」の受験準備に活用できる問題集



No.70201

大学入学共通テスト準備 情報Ⅰ 演習問題集

B5判/本冊64頁・別冊24頁/税込定価495円

基本的な問題から共通テストを意識した問題まで, 幅広い難易度の問題(マーク式)を掲載しています。

1人でも学習を進めやすいように充実した解説を掲載しています。

● 分野別問題集



「共通テスト用プログラム表記」による万全な対策が可能!

No.70172

改訂版 集中ドリル 情報Ⅰ プログラミング **改訂**

B5判/本冊32頁・別冊16頁/税込定価330円

共通テストで使用された擬似言語(共通テスト用プログラム表記)に対応したプログラミングの問題に更新しました。



共通テストで重視される「データの分析」分野の対策をこの一冊で

No.70181

集中ドリル 情報Ⅰ データの分析

B5判/本冊24頁・別冊8頁/税込定価308円

数学の公式から, データの解釈・考察まで, この一冊で学習できます。

ミニマニュアルシリーズ

● プログラミング

手軽に学習できるプログラミングの教材

書名	No.	判型	頁数	定価(税込)
改訂版 プログラミング入門 Python 編	70274	B5判	32頁	363円
プログラミング入門 JavaScript 編	70270	B5判	32頁	352円
プログラミング入門 Excel VBA 編	70269	B5判	32頁	352円

● Office マニュアル

Officeソフトの基本操作を学べる教材

書名	No.	判型	頁数	定価(税込)
これだけ! Office 2021 & Microsoft 365	70273	B5判	160頁	781円
これだけ! Office 2019	70272	B5判	160頁	770円
これだけ! Office 2016	70268	B5判	160頁	759円

情報モラル教材

No.70239

ポイント整理 情報モラル 17th Edition **改訂**

B5判/本冊48頁・別冊24頁/定価462円(税込)

No.70015

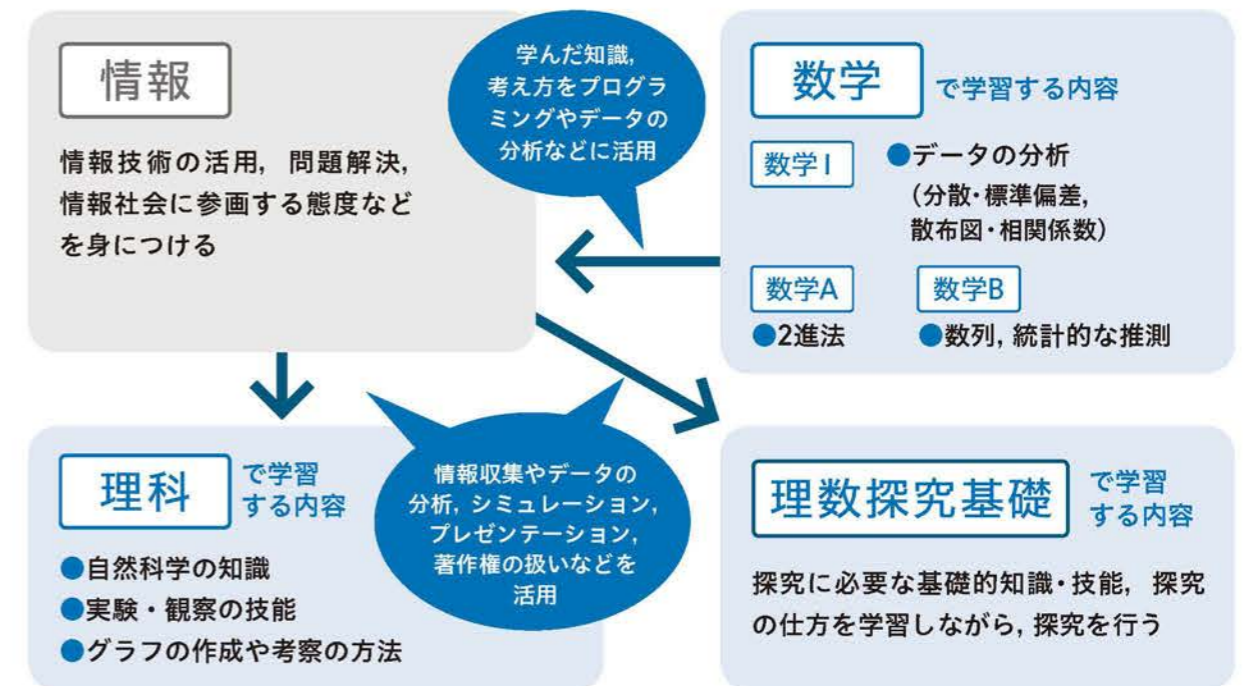
五訂版 これだけ! 著作権と情報倫理

A5判/64頁/定価319円(税込)

特集 「数学」「理科」「理数探究基礎」とのつながり

情報で学習する内容は, さまざまな教科の学習と関わっています。

ここでは, 理数系の科目とのつながりを紹介します。



令和9年度 数研版 情報教科書・周辺教材一覧



改訂版 教科書・教授資料・準拠問題集

種類	書名	判型	頁数
教科書	改訂版 高等学校 情報 I (情 I /104-901)	B5判	216頁
教授資料	改訂版 高等学校 情報 I 指導用教科書+データ・資料編	B5判	224+128頁
	改訂版 高等学校 情報 I 指導用教科書	B5判	224頁
準拠問題集	改訂版 高等学校 情報 I サポートノート	B5判	112+48頁
教科書	改訂版 情報 I Next (情 I /104-902)	B5判	192頁
教授資料	改訂版 情報 I Next 指導用教科書+データ・資料編	B5判	208+128頁
	改訂版 情報 I Next 指導用教科書	B5判	208頁
準拠問題集	改訂版 情報 I Next サポートノート	B5判	120+44頁

\ 指導に役立つ情報や教材データをお届け /
先生のための会員制サイト

チャート×ラボ

会員限定の情報もお届けします
<https://lab.chart.co.jp/>



※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者（小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方）に限定しております。

シラバス作成資料等はこちら！



数研出版コールセンター

TEL:075-231-0162

FAX:075-256-2936

東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3

関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上の大倉町 205

関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17

支店 札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡



本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
本カタログの印刷は2026年4月現在のものです。
本カタログの有効期限：2027年3月31日
返品に関する特約：商品に欠陥のある場合を除き、お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。QRコードは株式会社ガンソーウェブの登録商標です。本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。

151601